



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

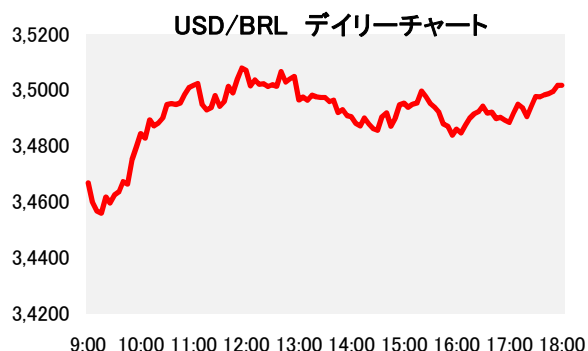
## 1. マーケット・レート

			4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	5月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5290	3.5270	3.4890	3.4350	3.5010	+0.0660
	BRL/JPY	Spot	31.55	31.61	30.99	30.97	30.41	-0.56
	EUR/USD	Spot	1.1300	1.1322	1.1356	1.1446	1.1531	+0.0085
	USD/JPY	Spot	111.32	111.45	108.10	106.43	106.42	-0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.785	13.755	13.870	13.887	13.892	+0.006
	Future	1Year(p.a.)	13.215	13.161	13.250	13.254	13.280	+0.026
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.587	2.363	2.154	2.131	2.300	+0.169
	USD	1Year(p.a.)	2.650	2.491	2.384	2.353	2.494	+0.141
株式	Bovespa指数		53.083	54.478	54.312	53.911	53.562	-349
CDS	CDS Brazil 5y		348.74	337.28	339.14	337.03	337.25	+0.23
商品	CRB指数		181.483	182.489	183.162	184.611	182.528	-2.08

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

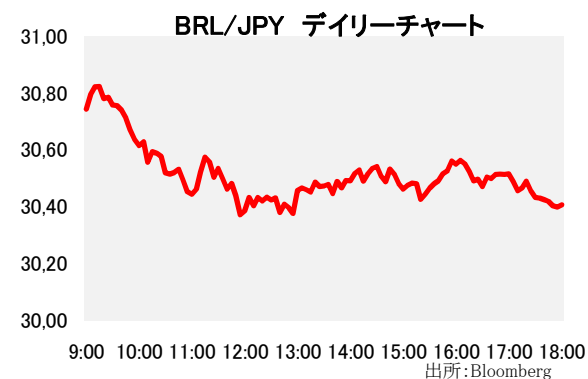
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.44%	0.49%	0.38%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	42.6	46.0
CNI設備稼働率(季調済)	--	77.4%	77.7%
貿易収支(月次)	\$4705m	\$4861m	\$4435m
総輸出	\$15406m	\$15374m	\$15994m
総輸入	\$10700m	\$10513m	\$11559m
(米)マーケット米国製造業PMI	50.8	50.8	50.8
(米)ISM製造業景況指数	51.4	50.8	51.8



## 3. 要人コメント

ドラギECB総裁	非常に低い金利は害がないわけではない
----------	--------------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.4620で寄り付いた後、直ぐさま本日の高値となる3.4540を付けた。しかし伯中銀によるドル買い介入が発表され、20億ドル相当のうち、全額が応札となったことを受けてレアルは一気に3.5000を下抜けて下落、正午には本日の安値となる3.5080を付けた。午後に入るとレアルは3.4800から3.5100の間で小幅に推移した後、結局3.5010でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.88%から-3.89%に下方修正、2017年予想は+0.30%から+0.40%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は6.98%から6.94%に下方修正された。2016年末の予想為替レートは3.80から3.72にレアル高方向へ修正された。
- 4月のイラク原油輸出が過去最高水準に迫ったことが売り材料となり、WTI先物が2営業日続落。国内ではエネルギー銘柄がつかれて下落、ボベスパ指数は前日比0.65%下落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。